

2013年10月7日

防衛省南関東防衛局

局長 丸井 博 殿

厚木基地爆音防止期成同盟

委員長 大波 修二

第四次厚木爆音訴訟原告団

団長 藤田 栄治

原子力空母の母港化に反対し

基地のない神奈川をめざす県央共闘会議

代表 二見 昇

神奈川平和運動センター

代表 宇野 峰雪

固定翼哨戒機P-1のエンジン停止事故の原因究明と

厚木基地への配備撤回を求める申し入れ

さる、5月13日に飛行中の「固定翼哨戒機P-1において4発全てのエンジンが停止した事故」は、航空機にとっては「あってはならない重大な事故である」と受け止めざるを得ない。

この事故を受けて、私たちは即日「エンジン停止事故への抗議と厚木基地へのP-1配備撤回を求める」旨の抗議声明を発したところである。

固定翼哨戒機P-1の安全性については、開発段階から数多くの不具合が頻繁に発生してきた。

私たちは、その都度、安全性を危惧し、不具合内容と対策などの情報公開、及びP-1の厚木基地への配備撤回を申し入れてきた。

しかし、貴職は、私たちの申し入れに耳を貸さず放置した挙句が、飛行中にエンジンが停止するという航空機にとって、致命的ともいえる重大な事故が発生したことである。

私たちは、この事態を重く受け止め、改めてエンジン停止事故の経過と原因究明、事後対策など下記項目について、文書による明確な回答を求めるとともに、P-1の厚木基地への配備撤回を申し入れるものである。

記

1. エンジン停止事故の経過と原因究明について説明されたい。
 - (1) 飛行中にエンジンが停止した事故の経過を説明されたい。
 - (2) 試作機のエンジン設計を変更した理由は何か。また、エンジン以外にも設計を変更した箇所があるのか説明されたい。
 - (3) 事故後、原因究明にむけ、どのように取り組まれたのか説明されたい。
 - (4) エンジンが停止した原因は何か。また、原因をどのようにして確かめられたのか説明されたい。
 - (5) 事故原因の解消にむけた具体的な対策を説明されたい。
 - (6) エンジンの改修にむけた今後の計画を説明されたい。
2. 固定翼哨戒機P-1の厚木基地への配備撤回と試験飛行の即時中止を要請する。

以上